

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	02	0401	消防拠点施設等整備事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
常備消防力の充実強化

《事業開始の背景》
消防施設等は、消防力の充実強化を図るため、経年劣化等に伴う機能低下を改善し維持向上を進める。

《事業概要》

- 消防車両の更新整備
消防体制の充実強化を図るため車両を更新整備
災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（花巻南温泉分遣所） 1台
- 消防庁舎の改修整備
防災拠点施設の充実強化を図るため消防庁舎を改修整備
花巻南温泉分遣所庁舎の改修（屋根・外壁・内装）
- 衛星携帯電話の更新整備
災害時における通信手段の充実強化を図るため衛星携帯電話を更新整備
衛星携帯電話 6台（車載用5台、通信指令センター用1台）

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	消防本部	総務課	菊池 泉	376

事業費	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
国庫支出金	61,908				
地方債	9,670				
その他	35,400				
一般財源	16,838				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

○ 消防車両の更新 52,284 千円
(花巻南温泉分遣所)

車両・所属	購入年月	走行距離	更新経費	内訳
災害対応特殊水槽付き 消防ポンプ自動車(Ⅱ型)	H25.12		52,185	車両購入 90 重量税 9 自賠責
《参考》旧車両 水槽付ポンプ車(水槽1.7t)	H9.11 (15年経過)	144,000km		
合計			52,284	

財源内訳

国庫	9,670
合併特例債	35,400
一般財源	7,115

○ 消防庁舎の改修 7,354 千円

庁舎名	概要	改修内容	更新経費	内訳
花巻南温泉分遣所	建築年月 H2.10 敷地面積 711㎡ 建築延面積 244㎡ 構造 木造一部鉄骨平屋建	屋根葺き替え 屋根塗装 外壁塗装 天井塗装 内装(クロス) 照明器具	6,966	改修工事
合計			388	設計監理委託
合計			7,354	

○ 衛星携帯電話更新整備 2,270 千円
更新11台→6台[イリジウム:5台(中央署指揮車、分署・分遣所救急車)、ワイドスターⅡ:1台(指令センター)]

更新後の保有状況(通常時)	消防本部	中央署	北署	東和分署	大迫分署	花巻温泉分遣所	南温泉分遣所	計
台数	1	2	1	1	1	1	1	8
配置先	指令センター	指揮車・救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	

※緊急時は救急車から緊急援助隊車両等に載せ替え

救急車更新済(H24)	救急車更新済(H23)
-------------	-------------

消防拠点施設等整備事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	02	0401	消防拠点施設等整備事業

総合計画	政策	都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり	施策	防災体制・減災対策の拡充
	5		5-3	

目的	常備消防力の充実強化
対象	災害時に生命・身体、財産を守ることを必要とする市民
意図	消防力を強化しあらゆる災害から市民の生命・身体、財産を守る体制を充実させる。

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- 消防車両の更新整備
 消防体制の充実強化を図るため車両を更新整備
 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（花巻南温泉分遣所） 1台
- 消防庁舎の改修整備
 防災拠点施設の充実強化を図るため消防庁舎を改修整備
 花巻南温泉分遣所庁舎の改修（屋根・外壁・内装）
- 衛星携帯電話の更新整備
 災害時における通信手段の充実強化を図るため衛星携帯電話を更新整備
 衛星携帯電話 6台（車載用5台、通信指令センター用1台）

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 消防車両等の更新整備		計画	2	1	1
		実績	2	1	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析 達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

- ・消防救急無線デジタル化基本設計については、平成23年4月の入札予定のところ、東日本大震災の影響で10月にずれ込んだ。また、基本設計の一部見直しに伴い納期が平成24年3月から平成24年9月に変更となった。
- ・車両更新等については、震災の影響があり事業着手が遅れたが計画どおりの事業を実施できた。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

環境変化によるものはない。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・消防車両等更新整備に係る消防力の維持強化は、市の責務である。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・消防車両等の更新整備は、災害や火災時に迅速な対応が可能となり安全・安心なまちづくりに繋がることから、成果向上できる。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	・消防車両等は、必要最小限の仕様に基づき更新するため、事業費の削減余地はなし。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	・受益者は、特定の市民ではなく全市民の誰もが対象であることから、受益機会は平等である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

防災体制・減災対策の拡充のため老朽化している装備、施設について更新・改修を行い、現場到着時間の短縮、災害時の安定的な通信確保に効果があった。